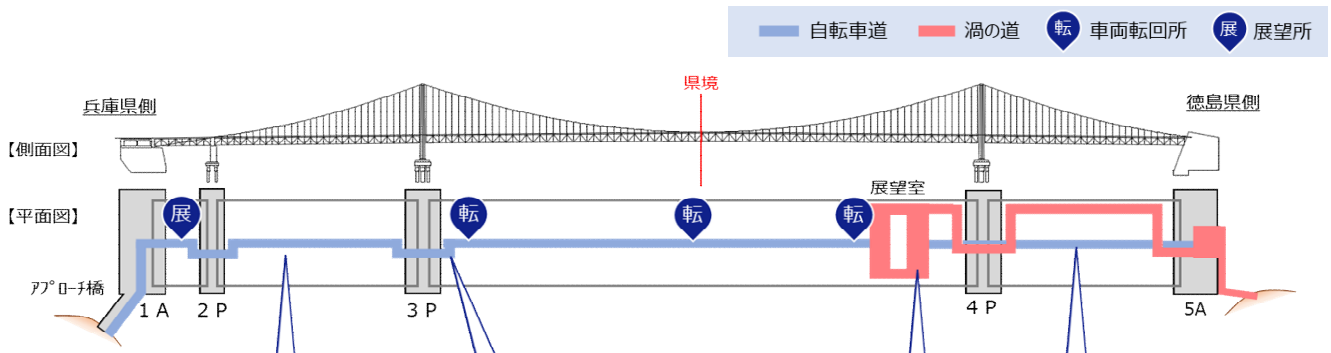
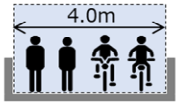
大鳴門橋自転車道設置工事概要

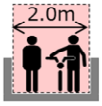


一般部
鉄道空間の中央に配置
幅員4.0m

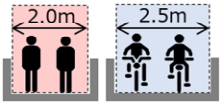


塔部（2P･3P･4P）
桁外面作業車に搭載の
リフターを移設するための
作業空間を確保し
瀬戸内海側へシフト

渦の道展望室部
既存の展望室を活用し
自転車も施設内を歩行



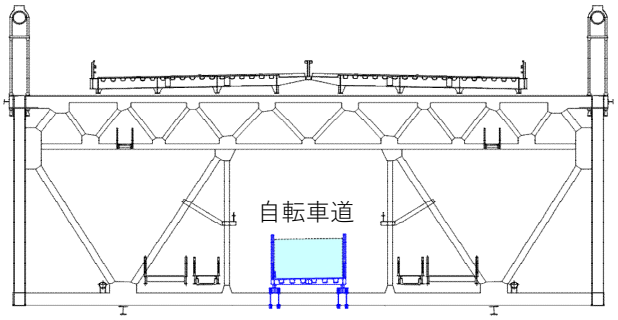
渦の道連絡通路部
幅員2.5m
歩行者は渦の道へ



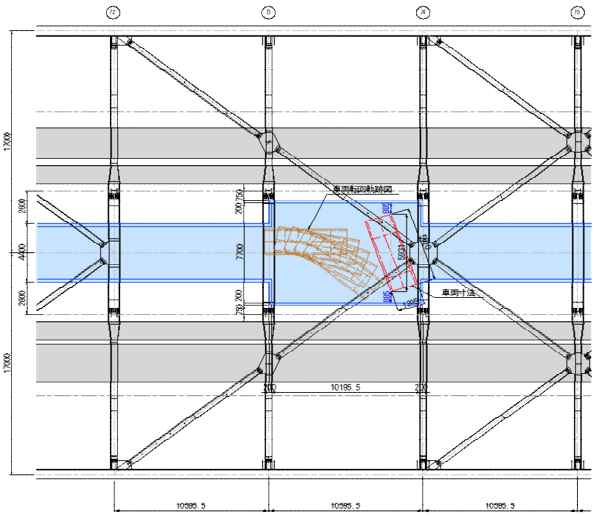
車両転回所
自転車道は1A側から
緊急車両が進入できる構造

車両が途中で転回できるよう
転回所を３ヶ所設置

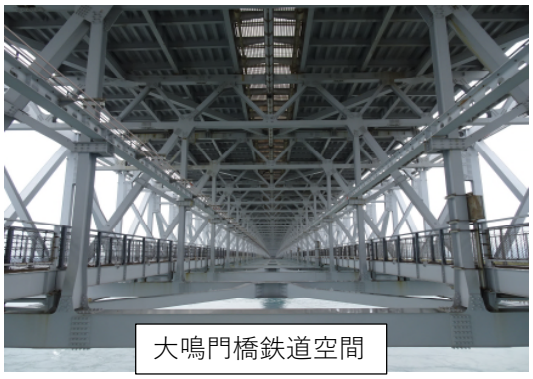




【自転車道設置位置（4m区間）】



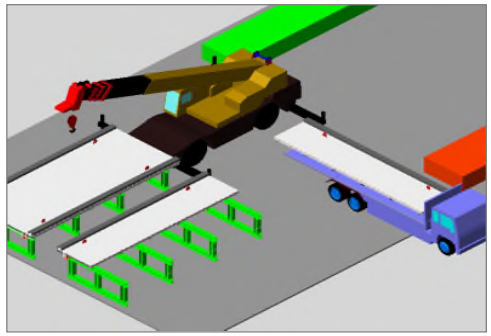
【車両転回イメージ】





大鳴門橋自転車道設置工事架設概要

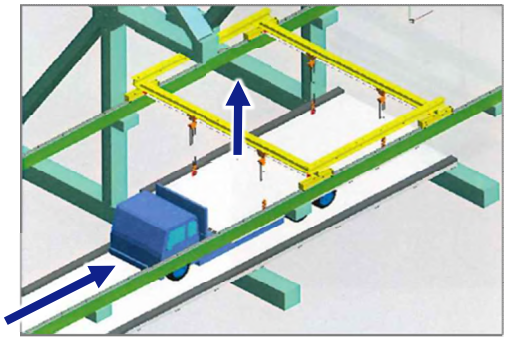
【床版架設】



部材搬入・仮置・地組立（1Aアンカレイジ）



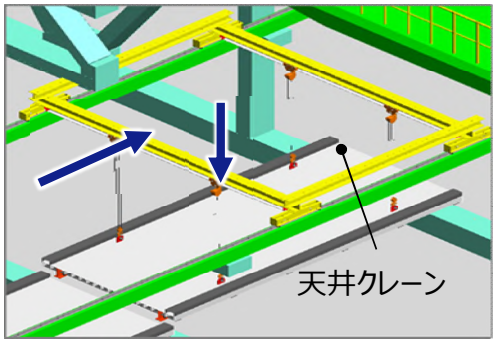
仮設構台・地組立ヤード



トラックによる部材運搬



トラックによる部材運搬



天井クレーンによる吊上げ・運搬・架設



天井クレーンによる吊上げ・運搬・架設

【アプローチ橋（兵庫県側、徳島県側）】



1A（兵庫県側）施工完了



5A（徳島県側）施工完了



床版架設は、淡路島側から実施
1A上屋鉄道階に仮設構台を構築し、地組立ヤードとして整備
部材を搬入し、仮置きと地組み立て実施
トラックで自転車道桁を運搬
架設位置で天井クレーンにて吊り上げ、移動して架設